

シロバイ自生地 天然記念物に

岡崎市指定 希少野生動植物種にも



自生するシロバイ（中央）
＝岡崎市桜井寺町で（市提供）

岡崎市は二十六日、同市桜井寺町のハイノキ科の樹木「シロバイ」の県内唯一の自生地を市指定天然記念物に決めた。市は同日、シロバイを希少野生動植物種にも指定した。

（森田真奈子）

シロバイは常緑性で高さ 七〜八メートルの小高木。国内で桜井寺町の自生地には、八は四国や九州など西日本に多く自生しているが、中部地方では珍しく、岡崎市が東端で、最も近い自生地は紀伊半島。

市環境保全課によると、桜井寺町の自生地には、八千五百七十六平方メートルに百五十八本が生えている。絶滅と似た植物生態がみられる。今後環境の特殊性に注目して研究を進めたいと話す。

指定に伴う遺伝子解析で、同町のシロバイは人為的な移植ではなく自生と確認された。調査に携わった愛知教育大の渡辺幹男教授（植物分類学）は「自生地のある額田地区には西日本

とした。

市自然環境保全条例に基づき、指定希少野生動植物種と話している。